

銀漢亭日録



伊藤伊那男

6月12日(金)▼発行所「大倉句会」。新入会員四人。終わって店に十七人。清人さん。鮎刺身など。伊東岬さん、三浦の枝豆沢山。肖子、文子さん。松山さんなど。

13日(土)▼菅原庄山子さんより、山形のさくらんぼ沢山到来。十時、運営委員会。十四時より、「銀漢本部句会」。何と五十九人出席。あと「和民」にて親睦会。

14日(日)▼終日家。礼状、その他、雑用。時々、うたた寝。夜、娘夫婦と食事。たまたま宮澤の伯父、伯母の葬儀が続いた後にて、私が死んだ時の葬式の考え方など。

15日(月)▼発行所、校正作業。店、「演劇人句会」十一人。酔馬さん、家庭菜園の野菜など。カウンターもそこそこの賑わい。

16日(火)▼新谷房子さんからの見舞状、蛙が畏まった姿勢の絵手紙にへ先生のかへるを待ちて句会かな」に笑ってしまった。(腹に傷ひとつ増やして蛙老ゆ)を返す。店、超結社句会「火の会」八人。東大俳句会三人、など。伊那北高校先輩「秋麗」の市川さん鯛焼きを土産にきて下さる。帰路、激しい雨。

17日(水)▼午前中、激しい雨。このごろ昼寝の習慣。店、「三水会」四人と少なし。作家の加藤廣先生来店。「信長の柩」以来のファン。実は盲腸手術の静養中、自分の時間ができたので俳句以外の本を読むと買って読んだのが氏の近著「利休の闇」にて、この偶然に驚く。先生、私の井月の本、買って下さる。

18日(木)▼今日も昼寝。店、今井聖さんを囲んで加藤楸邨についての勉強会。うさぎ、麒麟さん幹事で六人。「銀漢句会」あと十四人。鈴木琢磨さん、池田のりをさん、真砂年さん。O R I X時代の取引先の河田さんなど。

19日(金)▼発行所「葛句会」あと六人店。あと閑散。十時半、閉めて

六人ほどで「ふくの鳥」。帰宅すると二家族遊びに来ていて、ついつい一緒に一時くらいまで歓談。

20日(土)▼「纏句会」。今泉礼奈さんゲスト。あと題に出た海鞘、鰻の天ぷら、鰻の煮付、握り。酒は「雨後の月」。あと、高水、庄平さん句集出版を祝う会の打合せでイタリアンレストラン。皆から伊那男さん食欲戻ってしまったね、と言われる……。いやいや控え目です。

21日(日)▼正午、護国寺駅。真砂年、肖子、敦子、文子、角の介氏と落ち合う。土肥あき子さん年内転居と聞き、近隣を案内していただく会。印度カレーの昼食あと、吹上神社で鍵を借りて儒者捨場を訪ねる。護国寺の富士塚なども。土肥家の離れて十句出しの句会と酒盛り。土肥さんの手料理嬉しく。二十一時過ぎまで。

22日(月)▼十三時、「草樹」役員会に発行所貸し出し。十六時半より、店にてその懇親会十三人。入れ替わり十九時より、ニューヨークの月野ぼなさんを歓迎する句会。二十五人程が集まり、「伊」「那」「谷」の読み込み三句出し句会。(摩天楼の谷底にあて夕涼み)伊那男、がトップ！ ワイワイ。

23日(火)▼選句しながらうたた寝。店、鈴木てる緒さん選句稿受け取りがてら、バナラを連れて来てくれる。引越し前まで杉並の家で私と暮らしていたヨークシャテリア。元気！「萩句会」選句へ。店、超閑散。雨。

24日(水)▼「雑句会」十二人。活気あり。「天為」編集部など。「春耕」の窪田明氏より、今年も極上のさくらんぼ到来。生のルビーと呼ぶべし。

25日(木)▼午後、兄より、母逝去の報。店は島谷高水、伊藤庄平さんの句集出版合同祝賀会。五十六、七名集合。祝句一句づつの披露など味わい深い会。(労働者ヨセフに詩作てふ夏行)(島々に水位を高く青葉潮)兄と葬儀につきメールでやりとり。

26日(金)▼葬儀のスケジュール調整など。明日、御岳山鍛練句会はず

定どおり行くことに。鳥居真里子さん句会に発行所貸し出しを約しているが失念！これ、二回目。何とも情けないこと。店「白熱句会」。「金星句会」あと五人。中島凌雲くん、鍛練句会出席を兼ねて大阪から参加。

27日(土)▼御岳山鍛練句会。四十一名参加。御岳山荘終日霧中。ただし、次第に晴れ、夕焼け絶佳。宿の方もこんな夕焼けは珍しいと。十句出し句会二回で二十三時半。倒れ込んだように眠る。

28日(日)▼武田さん達は五時から奥の院へ。誘われたが起床不可。朝風呂よし。鶯の声の中。七時、御嶽神社にて祈禱をお願いする。八時、欠席投句十句預けて一足先に退出。幾つか乗り継いで南多摩斎場の母の葬儀へ。兄・妹夫妻、母の弟・織田さんの家族葬。杏子と孫。桃子は昨日弔問。火葬・骨揚げのあと、堀ノ内の「一澤」にて蕎麦会席の直会。帰宅してこんこんと眠る。(母送る紫陽花の青際む頃)

29日(月)▼朝から、八月号の原稿。店、神村君四人。広渡敬雄さん二人。武井まゆみさんから御嶽山。三回目の句会選句清記受領。

30日(火)▼店、超閑散。国会議員のT先生。「銀漢」先月号の私のエッセイを読んで、今後の生き方について話をしよう。と。たまたま超閑散にて三時間程話。礼奈、シンドガイ。今井さん、桂先生。

7月1日(水)▼店、O R I X時代の部下、奥和田、尾頭君。「宙」句会あと九人。三周年と私の早めの誕生日をウーヴクリコで祝ってくれる。

2日(木)▼店、「十六夜句会」あと十一人。先月店に訪ねて来てくれた二十七歳の辻本さん初参加。洋酔、好記さんがゲスト。肖子、対馬さんなど……。梶山かおりさん、影山風子さんと。梶山さん友人の女性を俳句へ勧誘中。

3日(金)▼「銀漢」8月号原稿終了。店、「大倉句会」あと十五人。気仙沼から清人さんの弟・和人さん参加。

4日(土)▼十三時半より、「Oh！納涼句会」超結社三十名程。兼

題五句、あと三句、二句の席題で合計十句。大西酔馬さんに料理を手伝ってもらう。十九時位まで。あと十人程で「大金星」に寄る。

5日(日)▼十一時、保谷の斎場にて母の葬儀。従兄弟の高雄君と久々。三菱重工の要職。大学後輩。あと谷保天満宮を参拝す。昼からの酒でぐずぐず。帰宅して桃子と酒盛り。宮澤は日帰りで博多。明朝からマドリッド行きと。

6日(月)▼店、次女の婿、友人と。「かささぎ俳句勉強会」あと武田禪次編集長の古希の祝の会。本人にはサブライズ!! 四十人参加。七十人が祝句を寄せる。(端居して在家遍路といふもよし)伊那男

7日(火)▼六十六歳の誕生日。(牽牛のもたもた渡る吾も丑年)ヘアメイクの中川さん来宅。カットしてもらう。雨。店、誕生日祝って下さる方々……。たまたま来店の国会議員のT先生、ウーヴクリコあけて下さる。松川洋酔さんジョニーウォーカーの青ラベルという凄いいすき持参。禪次さん寿司、展枝さん赤飯……など。パースデーケーキも。北澤一伯さん韓国に行ったと成田からキムチなど送ってくれる。

8日(水)▼秋の信州伊那、井月俳句大会の選句稿送る。千六百句程の応募あり。発行所「梶の葉句会」選句へ。夜。「きさらぎ句会」あと十人。

9日(木)▼全国俳誌協会の「現代俳句色紙短冊墨書展」用の色紙二枚、短冊一枚書く。大牧広先生の詩歌文学館受賞祝に一筆。(年寄がドンと花火を揚げたるよ)「天為」七月号で『漂白の俳人井上井月』の書評いただいた山本順子さんに礼状。店、閑散！

11日(土)▼十時、運営委員会、十一時、北辰社株主総会。十三時より「銀漢本部句会」五十八名出席。十六時、中座。帝国ホテルの「天為」創刊二十五周年祝賀会へ。久々、大屋達治氏とお会いする。恩田侑布子さん小島健さんが隣席。二次会も出て帰宅するとママ仲間が二人来ていて酒盛りに加わる。